

都市再生整備計画 事後評価シート

しんおおむらえきしゅうへんちく
新大村駅周辺地区

令和3年3月

ながさきけんおおむらし
長崎県大村市

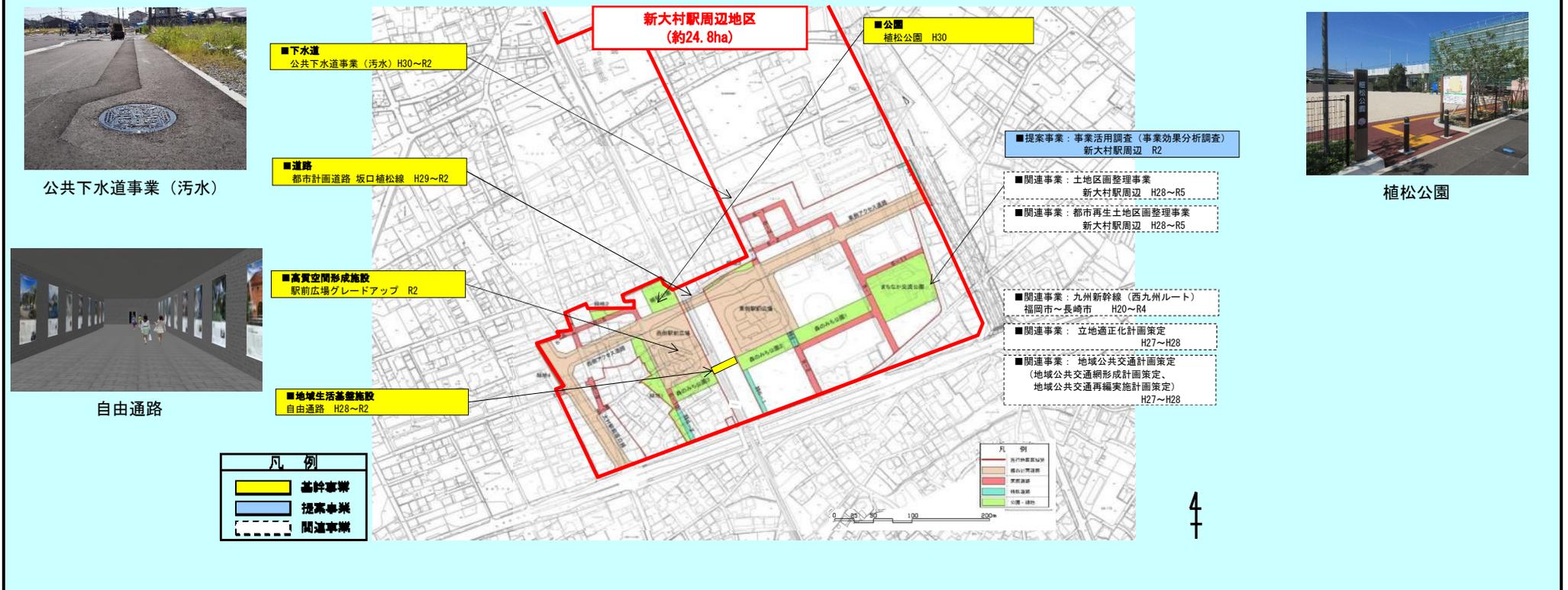
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長崎県		市町村名	大村市		地区名	新大村駅周辺地区			面積	24.8				
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	962	国費率	0.484						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名												
			基幹事業	下水道(公共下水道)、地域生活基盤施設(6施設:公園2箇所、駐輪場、情報案内板、交流公園防災施設、自由通路)、高質空間形成施設(3施設:東側駅前広場モニュメント、駅前構施設、駅前広場のグレードアップ)											
			提案事業		なし										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業		基幹事業	まちなか交流公園、森のみち公園、高架下自転車駐輪場、情報案内板、交流公園防災施設、東側駅前広場モニュメント、駅前構施設			新幹線駅舎工事との施工ヤードや工程調整により、施設整備実施時期が遅延したため削除			指標の減少変更実施					
			提案事業	なし											
新たに追加した事業		基幹事業	都市計画道路 坂口植松線、植松公園			都市計画道路 坂口植松線:幹線新駅を中心としたまちづくりに必要不可欠な重要路線であるため追加 植松公園:地元との合意形成完了により追加			影響なし						
		提案事業	事業効果分析調査			事業による効果・課題の分析やまちづくりの検討実施のため追加			影響なし						
交付期間の変更		当初	平成30年度～平成32年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
		変更	平成30年度～令和2年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度							
	指標1	西大村地区住民の市民参加型まちづくり推進に対する満足度	点	2.61	平成27年度(平成21年度)	2.95	令和2年度	2.94	△	あり	○	公園整備が完了し、駅前広場をはじめとする新大村駅周辺の開発が着々と進んでおり、2022年の新幹線駅開業が近づくに連れ住民によるまちづくりへの参画意欲が上昇している。	令和3年6月		
	指標2	市・県有地の民間利用面積割合	%	0	平成27年度	50	令和2年度	0	△	あり	○	都市計画道路の一部や公園などの各事業の整備が整い、民間企業の参入意欲が高まった。	令和3年6月		
指標3	西大村地区住民の公共施設に対する満足度	点	2.87	平成27年度(平成21年度)	2.99	令和2年度	2.94	△	あり	○	都市計画道路の一部や公園などの各事業の整備が進み、西大村地区住民の公共施設に対する満足度が上昇している。	令和3年6月			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1							
	その他の数値指標1	快適で暮らしやすい都市環境の整備	点	3.45	平成29年度	/	/	3.50	/			公園や下水道整備の各事業の整備が進み、西大村地区住民の都市環境の整備に対する満足度が上昇した。	-		
その他の数値指標2	道路網の整備と公共交通の利便性の向上	点	3.07	平成29年度	/	/	3.23	/			都市計画道路の一部や自由通路、駅前広場の各事業の整備が進み、西大村地区住民の道路網・公共交通の整備に対する満足度が上昇した。	-			
4)定性的な効果発現状況															
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-				
	住民参加プロセス		市民等の参画による施設の効果的活用の体制づくり			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 引き続き令和4年度の新幹線開業へ向け、官民一体となって活動の実施を図っていく。				
	持続的なまちづくり体制の構築		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-				

様式2-2 地区の概要

新大村駅周辺地区(長崎県大村市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
■大目標 世界へ、そして未来につながる・緑と歴史の大舞台 新大村 目標1:花と緑に囲まれた駅づくり・拠点づくり 目標2:若者が集い・躍動感のある拠点づくり 目標3:便利で魅力的な新しい生活を提案する拠点づくり	西大村地区住民の市民参加型まちづくり推進に対する満足度	単位:点	2.61	H27年度	2.95	R2年度	2.94	R2年度
	市・県有地の民間利用面積割合	単位:%	0	H27年度	50	R2年度	0	R2年度
	西大村地区住民の公共施設に対する満足度	単位:点	2.87	H27年度	2.99	R2年度	2.94	R2年度



公共下水道事業(汚水)



自由通路



植松公園

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・道路・公園等の都市基盤整備は一定程度進んだものの、地区全体の整備は途上段階である。 ・道路等の都市基盤整備や区画整理による宅地整備が途上段階であり、民間企業誘致も遅延していることから人口の定着が進んでいない。これらの理由としては、コロナウイルスの感染拡大などが考えられる。今後は民間企業の望む立地環境・周辺環境の把握や整備、適切なプロモーションを進めていく必要がある。また誘致後には地域への定着に向けた連携促進やフォローアップが重要である。 ・2022年(令和4年)の開業まで残り2年となり、駅名も「新大村駅」と正式に決定し市民のまちづくりへの機運も高まっていくと考えられることから、継続的に事業を進めるものとする。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・大村市の玄関口にふさわしい大村らしい魅力を持った空間づくりと活動の場を確保する。 ・広域交通結節点を活用した本市の定住・企業誘致等の拠点にふさわしい都市機能を誘導させる。 ・空港・新幹線新駅・インターチェンジへのアクセス向上と拠点地区にふさわしい都市基盤を確保する。